

# 農場HACCP認証制度の現状と推進状況



公益社団法人 中央畜産会  
衛生指導部 参与  
農場HACCP認証協議会  
山本洋一

# 1. 農場HACCPとは？

- 畜産物の安全性向上のためには、**個々の生産農場における衛生管理を向上**させ、病原微生物等による汚染リスクを低減し、健康な家畜を生産することが重要
- HACCPは、確実に安全な食品を作る必要がある宇宙食のために、米国のNASAが発案した手法で、食品製造の分野では世界中で取り入れられている
- 農場HACCPは、HACCPの考え方を採り入れ、**農家段階での危害要因をコントロール**する手法



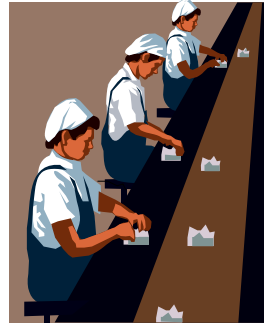
(参考1)

# フードチェーン

生産段階

流通加工段階

消費段階



【加工】

【流通】

畜産農場

食肉処理場  
乳業工場等

スーパー等

消費者

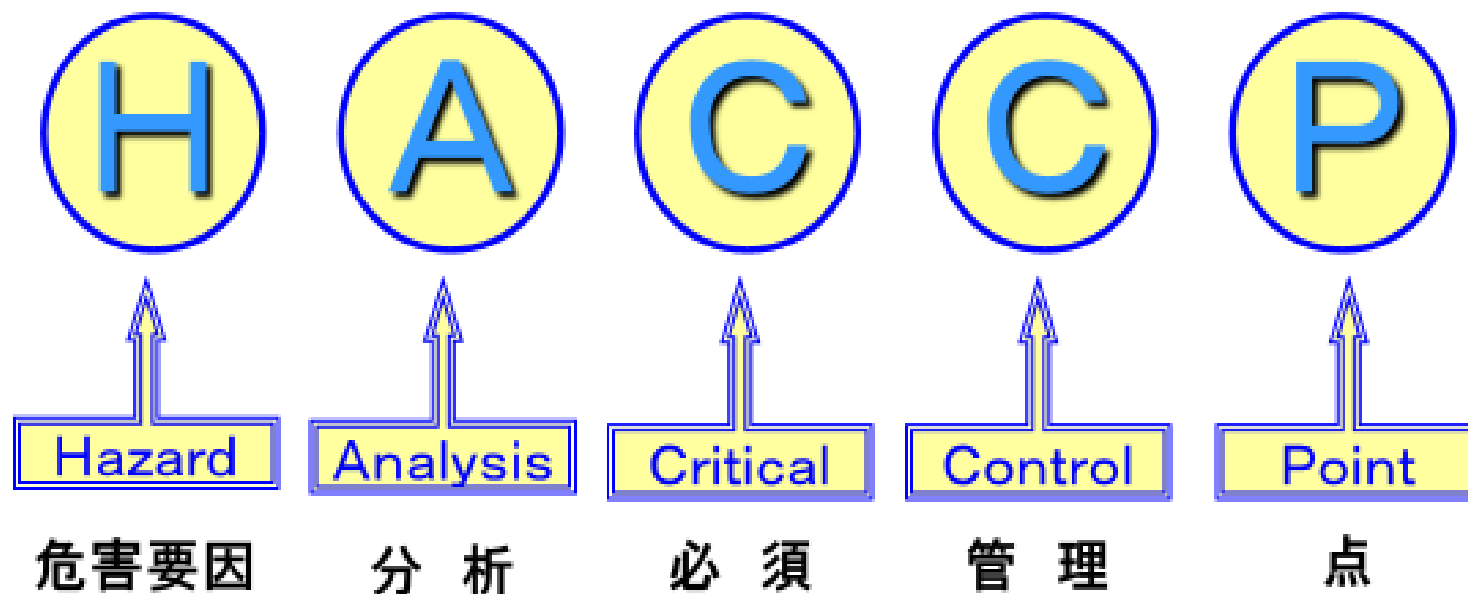
農場HACCPの  
取組

食品衛生法等における  
HACCP等の本格的な取組

衛生的な取扱い

農場から消費者へ一貫した衛生管理による安全な畜産物の供給

## (参考2) HACCPの意味等



食品の原材料や、製造の全工程で、どこにどのような危害があるのか、それはどんな管理をすれば避けることができるのかを判断し、文書化し、実行して記録を残すことにより、安全性を保証する衛生管理のシステム



# (参考3) 従来方式とHACCP方式の違い

従来方式

素牛導入



〔体重、日令をもとに選別して出荷〕  
安全な牛を出荷出来たかどうかは  
問題が起こらないと判らない

出荷



本当に安全？

HACCP方式

原材料受入



〔受入・保管〕  
OK!

給水開始



〔水質・飲水量〕  
OK!

給餌開始



〔品質・給餌量〕  
OK!

選別



〔注射針・薬剤残留〕  
OK!

出荷



〔運搬車両〕  
OK!

1つ1つの工程や作業でしっかりと管理

※出荷後に問題が起きた場合、記録等により原因の特定と改善が容易

安全性を確保



## 2. 農場HACCP認証基準の内容

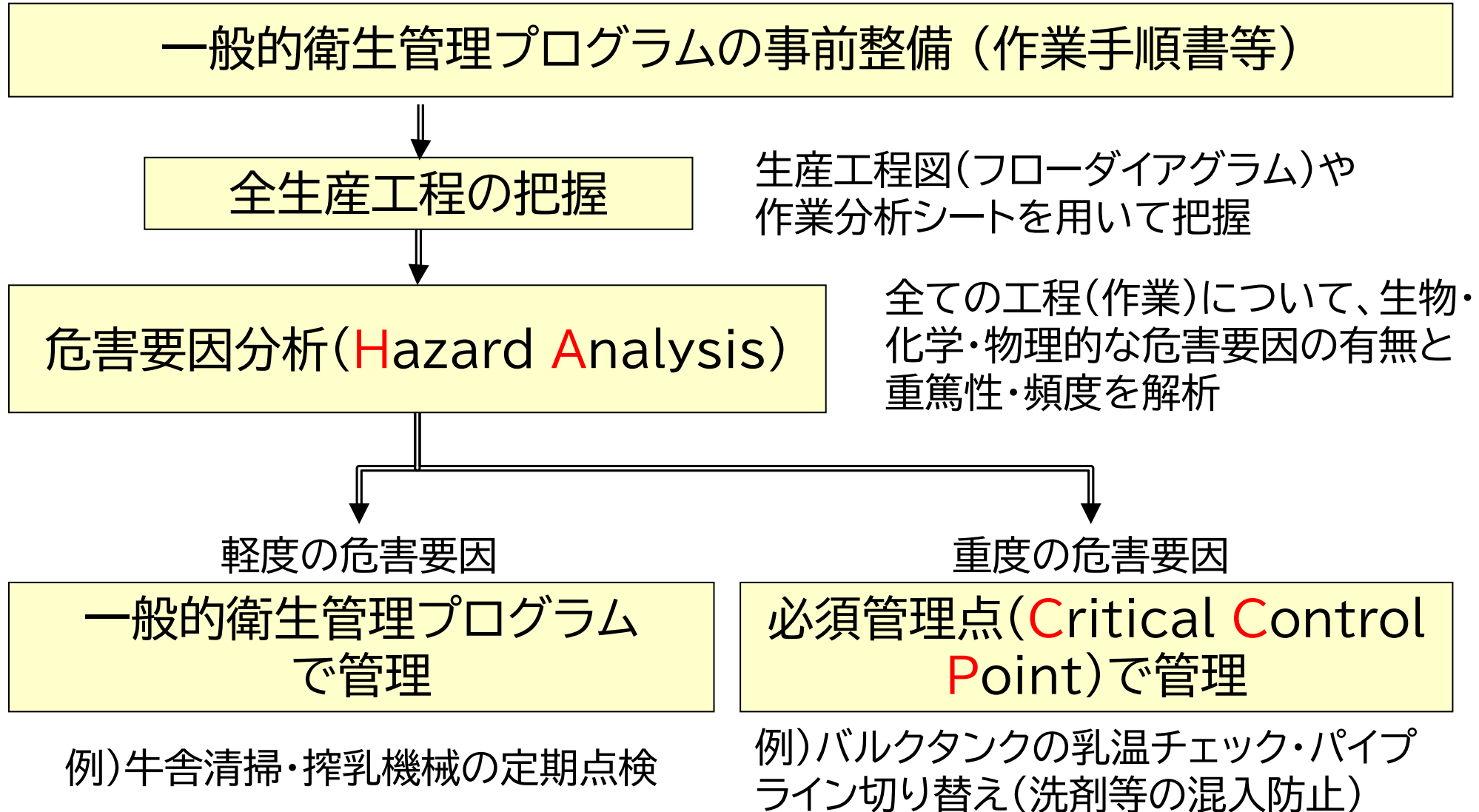
- CODEXの国際基準のガイドラインに示されている  
HACCPの7原則12手順の全てを構成要素として取り入れ
- PDCAサイクル(Plan→Do→Check→Act)により、危害要因分析、制御手段の策定、結果に対する評価、検証、改善・更新と連続的に進め、家畜・畜産物の安全と生産性を継続的に改善

# (参考4) 認証基準の構成

章	大項目
【第1章】 範囲、引用文書、用語	1. 範囲 2. 引用文書 3. 用語
【第2章】 経営者の責任	1. 経営者のコミットメント(誓約)
	2. HACCPチーム責任者及びチーム員の任命と責任・権限
	3. 外部コミュニケーション
	4. 内部コミュニケーション
	5. 特定事項への備え
	6. 衛生管理システムの見直し
	7. 人、設備等の資源の提供と管理
【第3章】 危害要因分析の準備	1. 素畜等の原材料及び資材
	2. 家畜・畜産物の特性
	3. 意図する用途
	4. 工程一覧図(フローダイアグラム)及び現状作業、生産環境の明確化と現場での確認

章	大項目
【第4章】 一般的衛生管理プログラムの確立とHACCP計画の作成	1. 一般的衛生管理プログラムの確立 (飼養衛生管理基準を基礎とし、第Ⅱ部の畜種別衛生管理規範を参考にすること)
	2. 危害要因分析(原則1)
	3. HACCP計画の作成 (1)必須管理点(CCP)の決定(原則2) (2)許容限界の決定(原則3) (3)監視(モニタリング)方法の確立(原則4) (4)是正措置の確立(原則5) (5)検証方法の決定(原則6) (6)文書化及び記録方法の確立(原則7)
【第5章】 教育・訓練	1. 教育・訓練
	2. 教育・訓練プログラム
【第6章】 評価、改善及び衛生管理システムの更新	1. 内部監査
	2. 情報の分析
	3. 衛生管理システムの更新
【第7章】 衛生管理文書リスト及び文書、記録に関する要求事項	1. 衛生管理文書リスト
	2. 文書、記録に関する要求事項

# (参考5) 農場HACCP取組の手順



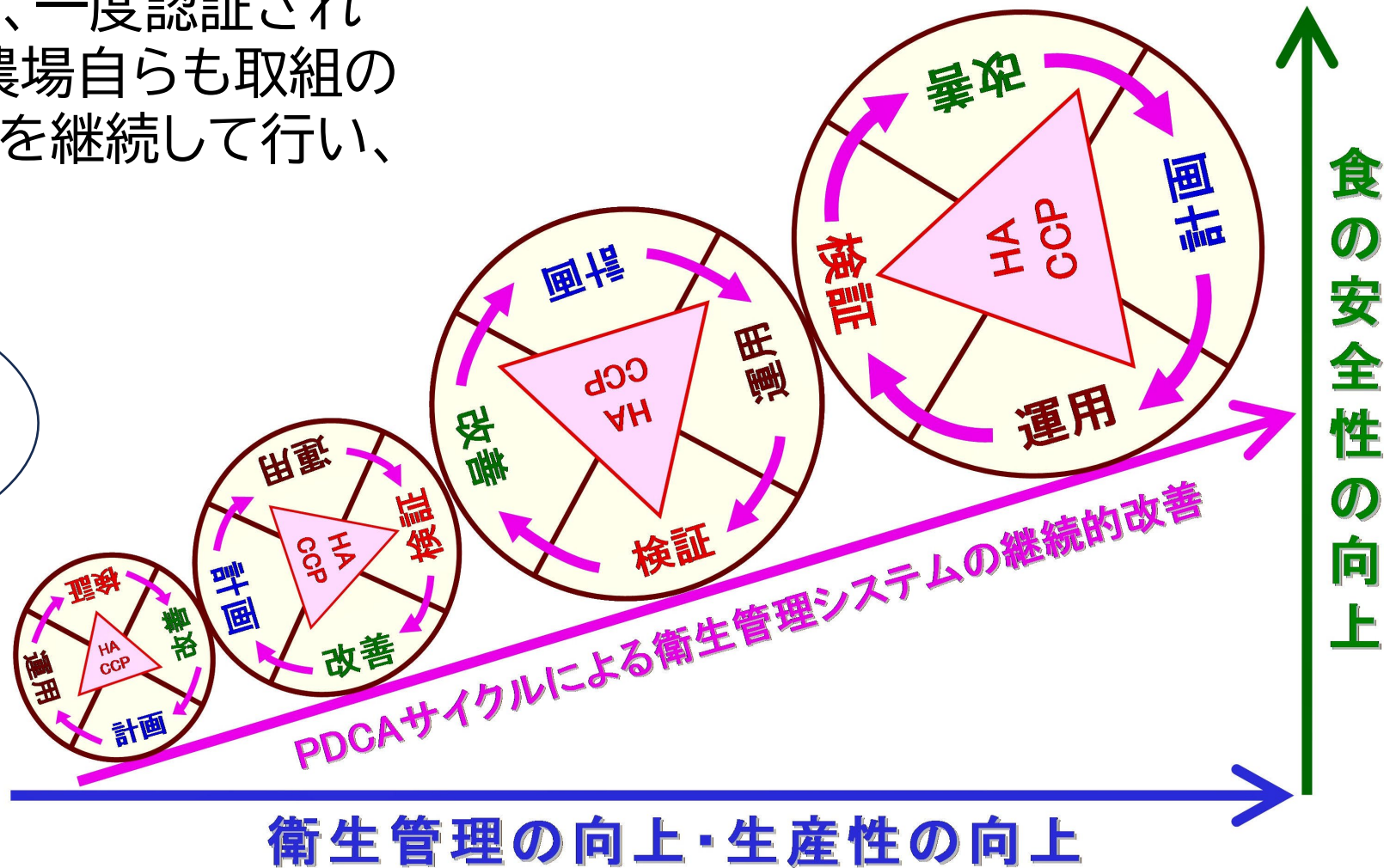
第3章

第4章

# (参考6) 農場HACCP衛生管理システムの継続的改善

農場HACCP認証では、一度認証されれば終わりではなく、農場自らも取組の計画、運用、検証、改善を継続して行い、よりよい取組を目指す

農場HACCPは、継続と見直しをすることが大事なの。



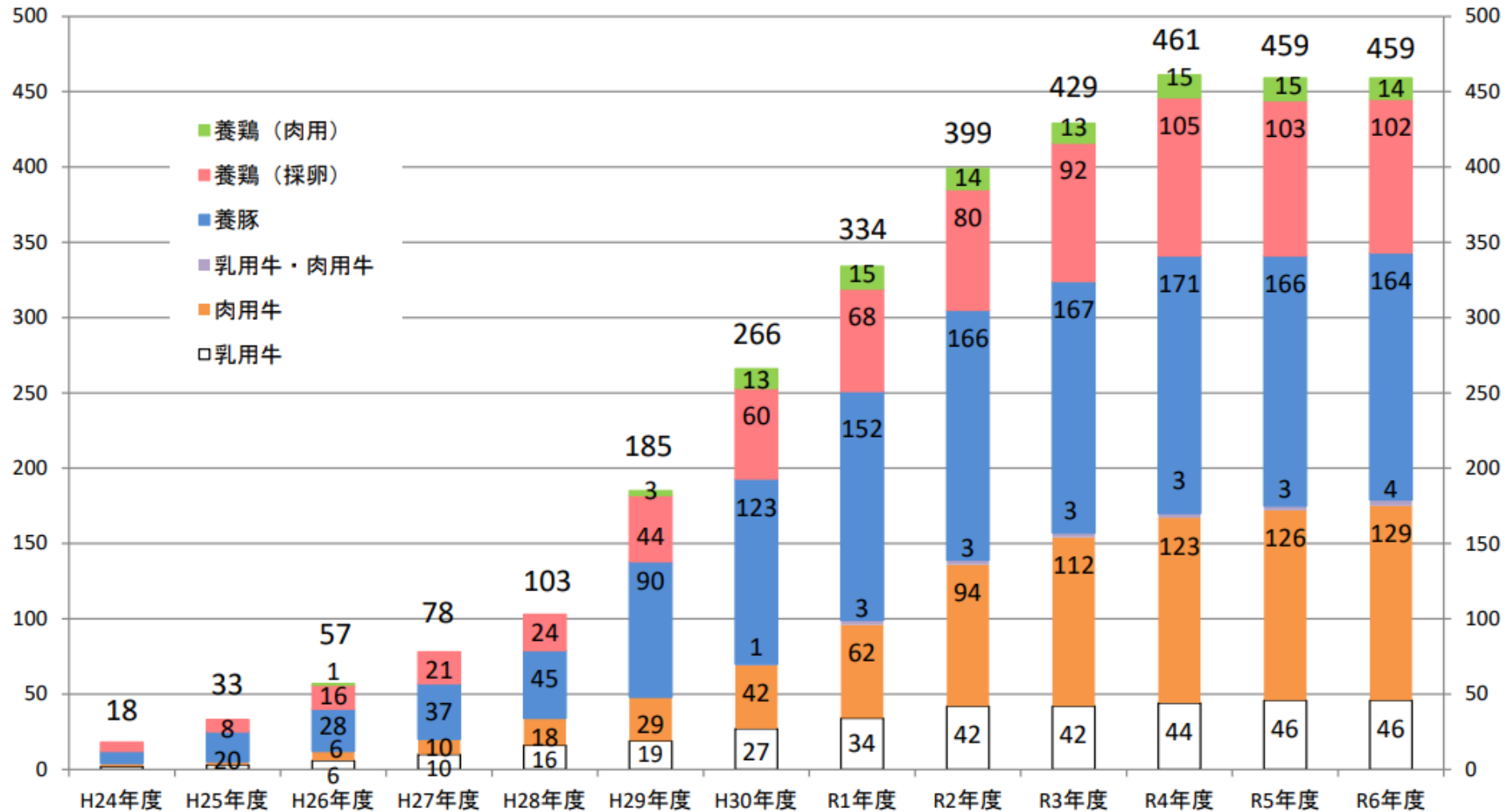
### 3. 農場HACCP認証の経緯

- 農林水産省は、平成16年に、畜産現場において遵守すべき「飼養衛生管理基準」を策定
- 「飼養衛生管理基準」を基本に、CODEXやISOの基準に基づき、平成21年度に「農場HACCP認証基準」を公表
- 平成23年、認証審査の普及推進を進める農場HACCP認証協議会が設立され、認証機関として、中央畜産会及びエス・エム・シーが業務を開始

## 4. 農場HACCP認証の現状(認証農場数の推移)

- 認証業務の開始以降、認証農場数は順調に増加を続け、令和6年10月時点の認証農場数は**459農場**  
【内訳】乳用牛(46)、肉用牛(129)、乳用牛・肉用牛(4)、豚(164)、採卵鶏(102)、肉用鶏(14)
- **平成29年度から認証農場数が大幅に増加し、令和3年度までの5年間で2倍以上に拡大**
- **令和2年度以降**、新型コロナウイルス感染症、家畜伝染性疾病の発生、生産資材価格の高騰の影響等により、認証継続を中断するケースも多くなり、**横ばい傾向**で推移

# (参考7) 農場HACCP認証取得農場数の推移 (令和6年10月8日時点)



## 5. 農場HACCP認証の指導員・審査員の養成

- 中央畜産会では、農場HACCPの農場指導員の養成・力量向上のための研修を実施、道府県畜産会等と連携し、農場HACCP認証の普及、構築指導を推進
- 農場HACCP認証協議会では、認証審査を行う審査員の養成・力量向上のための研修、審査員の登録を実施
- 令和6年3月時点の審査員の登録者数は193名  
うち審査を主導する主任審査委員は97名

# (参考8) 農場指導員及び審査員の養成・力量向上研修の開催予定 (令和6年度)

## 【農場指導員に関する研修会】

養成研修(5回):8月20日~22日、9月17日~19日、  
10月8日~10日、11月12日~14日、  
12月3日~5日

力量向上研修(3回) :10月22日、11月26日、12月18日

## 【審査員に関する研修会】

養成研修(6回):8月14日~15日、8月28日~29日、  
9月25日~26日、10月23日~24日、  
11月20日~21日、12月11日~12日

力量向上研修(3コース)

主任審査員対象(1回):10月30日

更新審査員対象(2回):7月31日、11月29日

新規審査員対象(1回):9月4日

## 6. 農場HACCP認証マークの表示



- 認証農場は、**農場の看板、従業員の名刺、ホームページ、運送車両等**に認証マーク表示が可能
- 平成30年から、**農場で生産された畜産製品**についても、認証農場由来の畜産物に限定される等の制約はあるものの、認証マークの貼付を可能としたところ（**31社、34製品**が許諾済み）
- 内訳は、牛乳4、牛肉9、豚肉6、鶏卵10、鶏肉1、ナチュラルチーズ2、ハム・ソーセージ1

## (参考9) 畜産製品への認証マーク貼付例



# 7. 今後の課題及び推進方向

## (1) 農場HACCPの認知度の向上

- 農場HACCPは、安全な畜産物の生産、衛生管理の向上、収益性の改善等といった点で高い評価
- 一部に、流通業者・消費者における認知度が不十分、販売面でのメリットが感じられにくいとの声
- 中央畜産会では、流通業者や消費者をターゲットとした農場HACCPの理解促進につながる平易でわかりやすい情報を発信中（生活情報誌、ユーチューブ、HP等）

## 農場HACCPに取り組む生産者の声(例)

担当者の衛生意識や、農場の衛生レベルが向上し、  
家畜伝染病の侵入防止に役立っている



出荷先からのクレームが減少し、  
信頼の向上につながった



家畜の育成率が向上し、生産コストの  
低減や収益性の改善につながった

マニュアルを作ったり、記録を残したり、  
ちょっと大変そうだけど、やりが  
いがあるね！



# 農場HACCPに関する情報はこちらから！

農場HACCPの3分動画を配信中(YouTube)



実写版



まんが版

# 7. 今後の課題及び推進方向

## (2)SDGs等の社会的ニーズへの対応

- 最近のSDGs(持続可能な開発目標)等に関する社会的ニーズに対応することが重要(労働安全、環境、アニマルウェルフェア、人権等)



- 農場HACCP認証農家がJGAP認証との**差分審査**を受けることで、SDGsに対応したJGAP認証を取得することが可能
- 一方で、農場HACCP認証についても、SDGsの取り組み内容をプラスした**プライム認証基準(仮称)**の検討を進めている状況

# (参考10) 農場HACCP認証とJGAP畜産の認証基準比較

## 農場HACCP認証基準

HACCP計画の策定  
重要管理点CCPの設定

危害要因分析HAの実施

法令遵守  
家畜伝染病予防法  
(飼養衛生管理基準)  
食品衛生法等

## 差分審査の主な対象部分

アニマルウェルフェア

労働安全

人権の尊重

環境保全

## JGAP家畜・畜産物基準